



自衛隊栃木地方協力本部

宇都宮駐屯地75周年記念行事で広報展！ ～満開の桜と自衛隊を楽しむ～



満開の桜の下、駐屯地には
たくさんの装備品が展示されていた。



制服試着をして記念撮影



自衛官のお父さんと
制服試着を楽しむ家族



賑わう自衛官募集コーナー



階級章などの説明を聞く来場者



真剣に説明を聞く来場者の様子



缶バッチ作成には長い行列ができた

び募集活動に邁進していく」とつづける。

近に感じていただけるよう活動していくとともに自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していく」とつづける。

栃木地本は「今後も、駐屯地と連携を密にし、地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動していくとともに自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していく」とつづける。

また、「普段は入れない駐屯地での記念行事を毎年楽しみにしています。子供も自衛隊大好きで、自衛官に憧れています」と笑顔で話してくれた。

また、自衛官募集コーナーにも多くの来場者が訪れ、賑わいを見せ、満開の桜とともに、来場者の心に残る記念祭となったようであった。



大人気の栃木地本キャラクター「りく」



顔出しパネルを楽しむ来場者

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は4月5日（土）、宇都宮駐屯地で実施された75周年記念行事において広報展を実施した。当日は多くの来場者で賑わい、迫力ある観閲行進や訓練展示などたくさんの催し物が開催された。

地本のブースでは制服試着、階級章等の展示、顔出しパネル、缶バッチ作成、自衛官募集コーナーを設け、多くの来場者が記念撮影などを行い楽しんでいった。栃木地本キャラクター広報戦士とちまも3兄弟の「りく」が登場すると多くの来場者に囲まれ、人気を博していた。来場したご家族から、「普段は入れない駐屯地での記念行事を毎年楽しみにしています。子供も自衛隊大好きで、自衛官に憧れています」と笑顔で話してくれた。

また、自衛官募集コーナーにも多くの来場者が訪れ、賑わいを見せ、満開の桜とともに、来場者の心に残る記念祭となったようであった。

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は4月5日（土）、